



江津湖クリーン作戦

昭和28年の六・二六災害以来、土砂のたい積と都市排水の流入などで痛んでいる江津湖のクリーン作戦が展開される。

都心部に近いところで自然湧水があるのは全国的にも珍しく、また熊本都市圏のオアシスとしても貴重なだけに総合的な開発整備を図ろうというもの。



▲ 観覧者でにぎわう県立美術館

郷土文化の振興につきましては、県民の一人ひとりが芸術や文化、文化財等に接して、心の豊かさを培うような機会を提供することが必要です。

このような観点から芸術文化の振興と、文化財の保護に重点を置き、各種事業の施策を推進してきました。

本年度は、県民から期待されていた美術館の美術品収集基金条例の制定をはじめ、各種文化活動の助成や祖先が遺した貴重な有形・無形の文化財、史跡、名勝などについても、その調査、指定、保存管理を積極的に行うと同時に、文化財に対する保護意識の啓蒙普及と保存施設の整備を図ることにしています。

★芸術文化の振興……

四千八十八万円

日頃、生の舞台芸術に接する機会の少ない方々のため、中央の優れた舞台芸術を鑑賞していただくための事業を実施します。

また、文化活動の拠点となる文化会館建設に対する補助及び文化団体の活動を促進するための助成を行います。

☆美術品取得基金制度の創設……

二億円

美術館の美術品の収集について、時機を失することなく、計画的に円滑に取得するための基金制度を創設し、更に収蔵品の充実を図ります。

☆風土記の丘建設調査……

八十九万円

郷土における伝統ある歴史的・風土的特性をあらわす古墳、城跡などが多く存在する地域を、広域的に保存することを目的とした風土記の丘を建設するための基礎調査を実施します。

★文化財の保護対策……

一億六百四十六万円

私たちの祖先が、長い歴史のなかで創造し伝承してきた貴重な文化財を保護するための各種調査及び文化財所有者や市町村が行う保存整備事業に対する助成を行います。

特に本年度からは、県内にある装飾古墳を年次計画で整備することにししました。

★県民文化センター建設……

一億七千三十九万円

県民文化センター建設のため、昨年九月総務部に建設準備室を設置し、県外の文化施設の調査、意見聴取など基礎調査をすすめてきました。本年度は、基本構想の策定とともに、敷地の地質調査並びに建物の設計を行うために一七〇、三九八千円(内二四、五六六千円は前年度からの繰越)を計上しています。なお、建設スケジュールとしては昭和五十五年度着工、五十七年度の完成を目指しています。